

「老人斑固定法の検討」に関する情報公開

東京都健康長寿医療センターでは、当センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

老人斑固定法の検討

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究の対象

2001 年 7 月～2028 年 9 月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、病理診断によりアルツハイマー病（AD）と診断された方、および、その正常対照となる方

●研究の期間

倫理委員会承認後から 2028 年 10 月まで

●研究の目的と概要

アルツハイマー病（AD）患者の脳では、アミロイドβタンパク質（Aβ）が蓄積し、老人斑と呼ばれる凝集体が形成されます。これは病因と深く関係しており、その病理学的染色像は病理診断の指標としても使われています。老人斑を構成するAβには、多くの分子種が存在することがわかっていますが、従来の染色法では、一部の分子種の老人斑への蓄積が検出されていない可能性が示唆されました。そこで、老人斑を含む組織の固定法について再検討を行い、より良い染色法を確立いたします。

●研究の方法

ホルマリン脳組織、ブアン固定、凍結脳組織から病理切片を作成し、各種の Aβ抗体による染色性を比較します。

●研究に使用する試料・情報

AD 患者 10 例、正常対照 5 例の脳組織

それに付随する臨床情報、病理情報

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤 祐子
村山 繁雄
同志社大学生命医科学部 角田 伸人

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号
東京都健康長寿医療センター
高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子（研究責任者）
電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）